



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
(TEL. 0 9 2 - 4 3 7 - 8 9 4 4)

(訂正) 「平成 28 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 27 年 11 月 10 日に開示いたしました「平成 28 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

訂正内容と理由

「平成 28 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、平成 29 年 6 月期決算作業の過程において、「その他」の区分のセグメントにて記載しておりました「メディカルサービス事業」は報告セグメントに該当することが判明したため、記載内容の一部訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所は _____ を付しております。

【訂正箇所】添付資料 3 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<訂正前>

⑤RV事業

RV事業につきましては、福岡販売本部（福岡県筑紫郡那珂川町）においてRV車等の販売に注力いたしました。また、秋田工場（秋田県横手市）においてオリジナルRV車の開発等に本格的に着手し、第2四半期連結累計期間内での完成、販売開始に向け注力してまいりました。

以上の結果、売上高 39,659 千円、営業損失 9,760 千円となりました。

⑥その他事業

警備事業、広告事業、メディカルサービス事業等のその他事業につきましては概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高 84,925 千円（前年同期比 47.2%増）、営業 利益 2,433 千円（前年同期は 3,431 千円の営業損失）となりました。

<訂正後>

⑤メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」及び9月に完成いたしました「福岡信和病院」の賃貸収入等により概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高 32,454 千円（前年同期比 249.0%増）、営業利益 6,016 千円（前年同期比 5,462.9%増）となりました。

⑥RV事業

RV事業につきましては、福岡販売本部（福岡県筑紫郡那珂川町）においてRV車等の販売に注力いたしました。また、秋田工場（秋田県横手市）においてオリジナルRV車の開発等に本格的に着手し、第2四半期連結累計期間内での完成、販売開始に向け注力してまいりました。

以上の結果、売上高 39,659 千円、営業損失 9,760 千円となりました。

⑦その他事業

警備事業、広告事業等のその他事業につきましては早期収益化に向け営業活動に注力いたしました。

以上の結果、売上高 52,470千円（前年同期比 8.4%増）、営業 損失 3,583千円（前年同期は 3,540千円の営業損失）となりました。

【訂正箇所】添付資料 8 ページ

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

<訂正前>

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウォー ター事業	アミューズ メント事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,713,279	237,553	200,399	141,413	<u>2,292,646</u>	<u>57,695</u>	2,350,341	—	2,350,341
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	810	5,766	—	—	6,576	11,267	17,843	(17,843)	—
計	1,714,089	243,319	200,399	141,413	<u>2,299,222</u>	<u>68,962</u>	2,368,185	(17,843)	2,350,341
セグメント利益 又は損失 (△)	111,942	△112,550	△83,614	1,248	<u>△82,974</u>	<u>△3,431</u>	△86,406	△8,044	△94,451

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 79,297 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,355 千円及び棚卸資産等の調整額 13 千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「アミューズメント事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,710,453	775,230	545,023	206,944	39,659	<u>3,277,312</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,273	6,044	842	61	—	8,221
計	<u>1,711,727</u>	<u>781,275</u>	<u>545,866</u>	<u>207,006</u>	<u>39,659</u>	<u>3,285,534</u>
セグメント利益又は損失（△）	157,633	△65,425	31,259	△4,986	△9,760	<u>108,720</u>

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	<u>84,925</u>	3,362,237	—	3,362,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,964	36,186	(36,186)	—
計	<u>112,889</u>	<u>3,398,423</u>	<u>(36,186)</u>	<u>3,362,237</u>
セグメント利益又は損失（△）	<u>2,433</u>	111,153	△1,845	109,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去100,317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,178千円及び棚卸資産等の調整額15千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「R V事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「R V事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第1四半期連結累計期間における該当事項はありません。

<訂正後>

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,713,279	237,553	200,399	141,413	9,300	2,301,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	810	5,766	—	—	—	6,576
計	1,714,089	243,319	200,399	141,413	9,300	2,308,522
セグメント利益又は損失（△）	111,942	△112,550	△83,614	1,248	108	△82,866

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	48,395	2,350,341	—	2,350,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,267	17,843	(17,843)	—
計	59,662	2,268,185	(17,843)	2,350,341
セグメント利益又は損失（△）	△3,540	△86,406	△8,044	△94,451

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 79,297 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,355 千円及び棚卸資産等の調整額 13 千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「アミューズメント事業」及び「メディカルサービス事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	R V事業	
売上高							
外部顧客への売上高	1,710,453	775,230	545,023	206,944	32,454	39,659	3,309,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,273	6,044	842	61	—	—	8,221
計	1,711,727	781,275	545,866	207,006	32,454	39,659	3,317,989
セグメント利益又は損失（△）	157,633	△65,425	31,259	△4,986	6,016	△9,760	114,736

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	52,470	3,362,237	—	3,362,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,964	36,186	(36,186)	—
計	80,434	3,398,423	(36,186)	3,362,237
セグメント利益又は損失（△）	△3,583	111,153	△1,845	109,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去100,317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,178千円及び棚卸資産等の調整額15千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「R V事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「R V事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第1四半期連結累計期間における該当事項はありません。